

# MCC 雑感 — 2006-1

2006-1-19

出席者 17名

コーヒータイトム参加 11名

2006年最初のMCC例会は徳田さん、小島さんが欠席、新規参加の副島さんを加えて17名と、近来に無い盛況であった。

皆さんの関心の高まりが感じられて、楽しい会となった。

## \* 初級講座 「メールに署名を」

荒川さんの素朴な疑問に端を発した「メールの署名」は俄な初級講座の開講に発展して、MCC始まって以来初めての試みとして初級講座となった。

ところが、最初は6人程度だった参加希望者が以外に増えて、1時には殆んどの人が現れて、嬉しい盛況となった。

しかし内容は私の存念を口早に20分喋っただけで、あまり反応は見られず果たして意味がある講座になったのかどうか??

レベルを初級としたために、多くの方々にとっては既によく判っていることばかりで新味に乏しかったのではないだろうか?

今日の私の主たる論点は

- 1) あらゆるアプリケーション・ソフトに必ず付いているツールバーのカスタマイズの薦め。
- 2) 手動による各種署名の挿入に慣れること

## \* 私のIT2005と新年の抱負

昨年忘年会で出して頂いた各自の2005年ITライフの感想と、新年に当って寄せられたメールによる2006年への抱負を纏めてご紹介した。

- 日高さん：
- 1) エクセルを使って膨大な資料整理とグラフを使っての分析・研究が2005年の特筆すべき成果であった。
  - 2) パソコンの二度の故障で、Meからの買い替えも考慮?

- 3) NTT-OCNからJcomに回線を変更、無線LANを有線に切り換えてトラブル脱却
- 4) 2006年希望は写真、音声、DVD及び動画
- 吉田さん： 1) フォトストーリー、PE-2の習得と動画の面白さの習得
- 2) スタンバイ機能の習得
- 3) インターネット情報をメールで送る技術の習得
- 4) 2006年にはスキャナー付きプリンター購入予定（既に実施）と引き続き動画の勉強
- 田中弘文さん：
- 1) 2005年の最も印象的だったことはエアストレージ
- 2) 2005年の進歩は  
外付けハードディスクでバックアップを実施  
ユーザー切り替えで昔のメールを簡単に読めるようになった  
ACDSee、PE-2の活用と音声・音楽のMP3変換保存  
フォトアンジェロ、フォトストーリーを活用した作品の数々
- 3) 2006年の抱負  
ワード、エクセルの習熟  
ムービー作成及びTVよりのデータ取得保存
- 大塚康さん 1) 2005年98機をモニター買い替えで復活
- 2) PC活用により各種会合幹事などに活躍
- 3) 2006年はTVとPC一体化を目指し、TV買い替えも
- 広田さん 1) 2005年は音楽付き動画に感銘を受けた。反面自らの進歩についてはやや悲観的な判定
- 2) 2006年はパソコンの原理原則を系統的に学びたい
- 石田さん 1) 2005年はデジカメ購入、しかし活用は未だしの感
- 2) 2006年は画像に挑戦とインターネット検索を学びたい

上記のアンケートに対して論評はすべきでないと思うが、私は田中弘文さんの2005年に於ける習得及びその活用の実績を高く評価したい。

MCC's Spaceに同氏の寄せられた南九州旅行、早春に花を求めて、根津神社、杏の里、吉備王国などの多くの作品に改めて感謝します。

### \*年初の安全確認

年初に各自が自分のパソコンの安全を確認し、それを文書（画像）で報告するというルールは3年目を迎えて、皆さんこの手法に習熟されました。

但し今年荒川さんがプロバイダーのチェックサービスによるマイクロトレンドであり、副島さんがマカフィーで、表示方法が一律というわけには行かないが、しかしM C Cとしては安全性が確認されていると認めることにしました。

(各自の確認一覧を末尾に添付)

### \*宿題「メールの縦書き」

日高さんの古稀の詩から発した、今年初めての宿題「縦書きメールに挑戦」はさまざまな議論を呼びましたが、結局殆んどの方がクリアされました。

この問題の意図するところは、

- 1) メールがHTML形式で、左から右への横書きが原則であること
- 2) ワードのページ設定で縦書きの日本語文章を作るのは容易であり、またテキストボックスを使って縦書き文章を作ることも出来るが、これらのワード形式の文章はそのままメールに入れると横になってしまう。  
この原理を理解すること
- 3) 結局は画像として取り入れるしかないが、その手法に習熟すること  
即ちプリントスクリーンキーの活用、クリップボードの原理の理解更には画像のトリミングなどの処理の技術です。

メールに画像を**挿入する**手法は既に新年の安全確認でノートン画面をメールに貼り付けているので、皆さん理解はされており、比較的易しいテーマだったと思います。

追加としてエクセルなら縦書き文章がそのままメールに貼り付けられるが、その理由はセル内部の改行コマンドが利いていることで、これは今後の宿題です。

### \*矢野さんによる S k y p e の紹介

既に矢野さん、小島さんが利用されている S k y p e について副島さんからも利用しているとの発言あり、矢野さんから改めてご紹介頂いた。

国際電話が費用タダで使えるというのであるから、家族が異国に居られる方々にとっては朗報であろう。

念のために S k y p e について I T 用語辞典を参照すると、

**S k y p e とは**

Skype Technologies 社が開発・公開している、P2P 技術を応用した音声通話ソフト。同社は著名なファイル交換ソフト「KaZaA」の開発者として知られる Niklas Zennstrom 氏と Janus Friis 氏が設立した企業。

Skype をインストールして同社にユーザ登録し、パソコンにマイク(と必要に応じてヘッドフォン)を接続すれば、Skype ユーザ同士で音声による通信を行なうことができる。通話品質は通常の電話よりも高いとされる。既に世界で 3000 万人程度のユーザがいると見られる。

最大 5 人までの同時通話が可能で、テキストによるチャットやファイル転送などでもできる。インスタントメッセージのように通話相手を「友達リスト」で管理することができ、オンライン状況をリアルタイムに確認することができる。

IP 電話などと異なり、中央サーバを介さずユーザ同士が直接接続して通話する。通信内容は 128 ビットの AES で暗号化される。ファイヤーウォールや NAT の内側にあるパソコンからも、特別な設定を行なうことなく接続できる。

Skype ユーザ同士の通信は無料だが、有料で世界中の固定電話や携帯電話に電話をかける「SkypeOut」機能もある。日本では、国内への通話が 1 分 4 円弱、主要国への国際電話が 1 分 2~3 円程度となっている。支払いはユーロ建てで行なう。

昔からあったヤフーのネットミーティングなどに較べて音声のずれもなく、非常に明瞭に聞こえるとのこと。

### \* 副島さんの加入

19 人目のメンバーとして副島勲さんが参加された。現在 NEC のデスクトップ、ノート二台を使って居られるが、これまでの様々なパソコンに纏わる苦労話は傾聴に値するものである。

—以上—